

9

日ロ地先沖合漁業交渉

日本とロシアとの間では、昭和59年(1984年)12月に成立した「地先沖合漁業協定」に基づき、毎年、操業条件について日ロ漁業委員会が決定し、相手国200海里水域内に入漁しています。

平成18年12月の日ロ漁業委員会第23回会議では、ロシア国内の漁業制度が自国水産業の育成を重視する方向に見直され、資源管理が一層強化されている中での厳しい交渉でありましたが、最終的に前年とほぼ同量である5万7321トンの漁獲割当量を確保しています。

(1) 平成19年(2007年)の合意内容

① ロシア200海里水域における日本漁船の操業条件等

ア. 相互入漁

- ▶ 総漁獲割当量 51,297トン
- ▶ 総隻数 553隻

イ. 有償入漁

- ▶ 総漁獲割当量 6,024トン
- ▶ 入漁料 2億3,080万円
- ▶ 総隻数 45隻

ウ. 追加協議

- ▶ 西ベーリング水域で追加割当が生じた場合、日本漁船への配分を最優先に協議。

<主な魚種別の漁獲割当量> ※()内は追加割当量 (単位:トン)

魚種	平成18年(2006年)		平成19年(2007年)	
	相互入漁	有償入漁	相互入漁	有償入漁
スケトウダラ	4,704	3,200 (4,750)	4,704	3,000
カレイ	48	450	48	450
メヌケ	7	173	7	164
マダラ	537	190	537	190
サンマ	35,500	-	35,500	-
ホッケ・アイナメ類	373	320	223	320
コマイ	-	1,000	-	1,000
イカ	9,145	960	9,245	760
タコ	43	50	43	50
カタクチイワシ	100	-	100	-
その他の	810	90 (75)	890	90
計	51,267	6,433	51,297	6,024
	57,700		57,321	

② 日本200海里水域におけるロシア漁船の操業条件等

ア. 相互入漁

- ▶ 総漁獲割当量 51,297トン
- ▶ 総隻数 108隻

<主な魚種別の漁獲割当量> (単位:トン)

魚種	平成18年(2006年)	平成19年(2007年)
イワシ・サバ	11,067	10,947
イトヒキダラ	27,200	27,350
サンマ	13,000	13,000
その他の	-	-
計	51,267	51,297

(2) 日口地先沖合漁業交渉操業海域図

